

令和3年度 東海商業高校ソフトボール部 活動報告

更新が不定期で、報告が遅れています。令和3年度もコロナ禍で活動制限の時期もありましたが、新入部員7名（10月に新入部員が加入し12月時点で8名）が加入し、春の総体では昨年度の新人戦の悔しさを晴らし県大会に出場。今年度で最後の開催となる商業科大会では、大会途中での代替わりがありながらも、3位。新人戦は棄権と悔しい思いをしましたが、現在、練習試合では練習の成果が結果として表れるなど、日々逞しく活動する姿に、顧問として頼もしさも感じています。ざっくりとした報告はここまでとし、今年度の活動を振り返っていきます。

1 新入部員7名が加わり令和3年度スタート

4月、新入部員7名（選手6名・マネージャー1名）が加わり東商ソフト部、令和3年度がスタート。昨年は、新人戦で県大会出場を逃すなど、悔しい思いもしたが、東海学園との合同チームでの大会出場など、今までにない経験も積めた1年でもあった。「自分たちだけの力で」という思いは、今までのどの代よりも強く、総体予選では県大会出場も楽ではなかったが、地区予選準決勝の中部大第一との試合では、このチームのベストゲームができた。練習の成果を発揮し、序盤のビハインドを、後半は東商のペースで試合を進めることができた。結果は伴わなかったが、大きな自信になった。

2 県大会

5月、待ちに待った県大会。相手は練習試合でも何度も対戦した東邦高校。前哨戦を含めて1点差が多く、気の抜けない相手であった。試合は1回からミスが出てしまい、ゲームプランが大きく狂ってしまった。それまで、ランナーを背負っても粘り強く守っていた守備陣だが、この日は我慢が利かなかった。1点ずつ積み重ねられ、点差は開き完敗。何もできない敗戦だった。しかし、相手の方が上だったと受け止め、残りの大会に向けて練習あるのみ。

3 教育実習生の指導

6月、卒業生が教育実習生として来校。部活の指導にも携わっていただきました。彼女が卒業して、数年経ち、環境だけでなく時代の変化とともに在籍する生徒の雰囲気も変わりました。昔話に花を咲かせながらも、今いる生徒たちに向き合って指導をしてくれました。2週間お疲れさまでした。



4 商業科大会から新チームへ

8月、今年度で最後の開催となる商業科大会。過去に本校は優勝を含めて好成績を残している大会で、久々の優勝を目指し大会に挑みました。チーム運営上の方針により、大会途中で新チームへ切り替えて、結果は3位。3年生含めた最後の試合となった成章戦と、敗退した新チーム初戦となった準決勝の岡商戦は顧問である私の胸に深く刻まれています。私自身の至らなさも含めて、印象深い商業科大会となりました。さて、新チームは課題の山積みでスタートです。2年生も2人しか試合に出ていません。このチームの可能性を信じて練習あるのみ。

5 新人戦棄権 ～ 新入部員加入 ～ クリスマス練習試合

9月、コロナ禍の中、新人戦がおこなわれましたが、本校は直前で辞退。仕方ありません。気持ちを切り替え、秋を迎えます。

10月、この時期としては珍しく、1年生に新入部員が加わりました。マネージャー起用での試合ともこれで卒業です(笑)半年の差は大きいと思いますが、頑張ってもらいたいです。また、半年以上を先に経験した1年生も、自分の経験を上手に伝えて、早くチームに溶け込めるように心遣いをお願いします。

12月、県内のチームで5校集まり、交流試合を実施。今のチームの状況で、どれだけの成果が得られるのか、2カ月前から企画し、ここを目標に練習に取り組んできました。相手は格上ばかりでしたが、臆せず、自分が普段取り組んでいることを発揮している姿に感心しました。すべての選手が結果が出たわけではありませんが、一つ一つの積み重ねの大切さを感じた1日であったと思います。

翌週、12月25日(土)。新チームになって最も多く試合をしていただいている尾北高校さんと練習試合。ちょうどクリスマスともあって、ちょっとした飾りつけも準備しました。しかし、当日は明け方まで雨。両校でグラウンドの水を取り、不良コンディションのグラウンドでの試合。これもこれで思い出に残ったかな(笑)尾北高校さん、準備から片付けまでありがとうございました。



試合前のグラウンド整備



マネージャー作の飾りつけ



寒空の下での試合



汚れる前の記念撮影。試合後は・・・